

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

1. 学校の教育目標

<p>【ディプロマ・ポリシー】 1. 自発的なコミュニケーション力とカフェスイーツ分野に必要な総合的知識・専門的技術を有し、店舗運営・マネジメントに必要な総合的実践力を身につけている 2. 衛生管理および食品・栄養に関する知識を有し、安心・安全な商品を提供する能力を身につけている 3. 社会人基礎力を有し、職業人として必要な挨拶・礼儀・身だしなみ及び、規範やモラルを守る力を身につけている 4. 製菓衛生師として必要な知識・技術を有し、製菓衛生師試験に合格する力を身につけている 5. 社会や業界に貢献したい思いを有し、人々の喜びや笑顔を創り出せるホスピタリティマインドを身につけている</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】 カフェスイーツ分野の知識・技術のみならず、衛生管理やコスト管理、接客・サービスなど店舗運営に関わる知識・技術を総合的に学習する。 また、職業人として必要なマナーやホスピタリティ精神、コミュニケーション能力を醸成し、業界や社会の発展に貢献できる人材を養成するための教育を行う。</p> <p>＜コア科目＞ 1. 製菓・製パンの基本的な知識・技術を身につける科目 2. 製菓衛生師として必要な食品・衛生・法律に関する知識を身につける科目 3. 正しい職業観や社会人としての規範やモラル、ホスピタリティマインドを身につける科目</p> <p>＜アドバンス科目＞ 1. カフェスイーツ分野に求められる専門性の高い知識・技術を身につける科目 2. カフェスタッフとして接客・サービスなどコミュニケーション能力を身につける科目 3. カフェ店舗を運営する実践力を身につける科目</p> <p>【アドミッション・ポリシー】 1. 建学の精神に共感し、本学で学びたいという強い意志と明確な目的をもつ人 2. ホスピタリティマインドの醸成に努め、積極的にコミュニケーション力を発揮できる人 3. カフェスイーツ分野に興味があり、知識や技術を高めるため主体的に学ぶ意欲のある人 4. 職業人として必要な挨拶、礼儀、モラルを身につけ、将来製菓衛生師としてカフェ・スイーツ業界で活躍する意欲のある人 5. 人の幸せに共感でき、地域や社会全体のハピネスに貢献できる人</p>

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学希望者拡大に向けたオープンキャンパスにおける効果的なプログラムの構築による確実な歩留まり【5】の獲得と出願目標の完全達成 2. 徹底した基礎教育とカフェ実践による専門性・応用力を高める科目横断型授業の展開 3. 製菓衛生師試験100%合格に向けたサポート体制の充実 4. ライフデザイン力の醸成と第一希望進路の実現をサポートする進路支援体制の強化 5. 規範やモラルを守り抜き、正しく考え行動する「アカデミック・インテグリティ」の醸成 6. 学会や研究、コンクール、研修への参加・発表を通じた教職員の人財力向上

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、 やや不適切…2、 不適切…1				備考: 取組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	体系化した学園理念の下で、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3ポリシーを運用し、教育理念を明確にするとともに、学科ごとに養成する人材像をより明確に定めている。なお、ホームページの「教育方針」のページに3ポリシーを掲載している。	・アドミッション・ポリシー ・カリキュラム・ポリシー ・ディプロマ・ポリシー
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1	それぞれの職業に必要なスキル教育だけに視点を置くのではなく、その前に「人間として必要なことがある」ということを重視するとともに、独自のカリキュラム内容で演習・実習等を中心に実践的な授業を展開している。 特に、人の幸せを自分の幸せと考えることができるホスピタリティ精神の涵養について重きを置いている。	・学則の教育課程(カリキュラム) ・ホームページ「教育方針」
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	10年後を見据えた学園ビジョン(長期経営目標)、学園の中期経営計画(中期経営目標)、各年度の学園運営方針を基に、本校の運営方針、さらには各部、各学科の事業計画に具体的な目標設定をしてその達成に向けて取り組んでいる。 なお、2018年4月に太秦キャンパスを開設し、教育内容の実態にあわせ「京都製菓製パン技術専門学校」へ校名を変更した。	・学校運営方針
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1	学生に配布するシラバスに掲載するとともに、HPにも掲載している。	・シラバス ・ホームページ「教育方針」
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1	毎年開催している教育課程編成委員会で、3ポリシーや育成人材像に対し意見をいただき検討している。また、学校運営方針をもとに各学科事業計画を策定し、上期終了時には中間チェックも行っている。	・事業計画書

① 課題

・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの周知徹底。
 ・2018年度以降保護者説明会を実施しないため、学園理念・教育方針等の保護者周知方法の見直しが必要。

② 今後の改善方策

・保護者宛にお送りする「就職活動サポート読本」や成績通知書等への記載や、ホームページの案内を行うことで周知を促進する。

③ 特記事項

・学園では、10年先を見据えた長期経営目標、3年に1度の中期経営目標で将来構想を策定している。
 ・ハピネス・ホスピタリティ・スタンダードを策定し、規範教育も徹底している。
 ・2019年度よりアセスメント・ポリシーを制定・導入する。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	長期経営目標、中期経営計画、学園運営方針、学校運営方針を体系的に策定している。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期経営目標 ・中期経営計画 ・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画書 ・ホスピタリティ・レポート(学園概要&SR報告書)
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1	各部事業計画を学校運営方針に沿って策定している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画書
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1	法人の管理規則に明記され、規則に則り運営されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスマニュアル(管理規則)
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1	法人において、人事規程、人事考課規程、給与規定を定めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスマニュアル(給与規程、人事規程、人事考課規程等)
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	法人の管理規則、経理規程に則り整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスマニュアル(管理規則、経理規程)
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	法人において、グループ・ガバナンスを構築し、全教職員が閲覧できるコンプライアンスマニュアルを学内イントラネットに公開、周知徹底を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスマニュアル(管理規則、庶務規程、情報セキュリティポリシー、プライバシーポリシー、ハラスメントポリシー等)
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	入学案内書、ホームページ、ホスピタリティ・レポート(学園概要&SR報告書)などを通じて、情報公開している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学案内書 ・ホームページ ・ホスピタリティ・レポート(学園概要&SR報告書)
・情報システム等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	グループウェア及び独自の業務支援システムを活用し効率化を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループウェアソフト ・業務支援システム

① 課題

・新業務支援システム導入に伴い、証明書・出席簿等帳票の様式や、学生情報閲覧や一斉メール配信等の使用方法が一部変更となっている。

② 今後の改善方策

・新業務支援システムを2019年1月に導入しているが、マニュアルを作成・活用することで、利用頻度を高め更なる業務の効率化を図る。

③ 特記事項

・各種規程・規則をまとめた「コンプライアンスマニュアル」において組織の意志決定や人事、給与に関する規程、セキュリティポリシーなどを定め、コンプライアンスの周知徹底をはじめリスクマネジメントの強化など、公正かつ透明性の高いグループ・ガバナンスを構築している。
 ・授業評価、卒業時満足度調査の結果(点数)を、ホームページの大和学園データ集で公開している。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1	教育理念に沿って、カリキュラム・ポリシーを策定し、2016年度より運用している。	・シラバス ・学則・規定集
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1	ディプロマ・ポリシーにあわせ教育到達レベルを明確化し、カリキュラム1,700授業時間以上(当学科1,960授業時間)を確保している。	・シラバス
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1	カリキュラム検討委員会を設置し、教育課程編成委員会の提言を踏まえ、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を輩出できる、カリキュラムを体系的に編成している。	・カリキュラム検討委員会報告書 ・シラバス
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1	カリキュラム検討委員会を設置し、教育課程編成委員会の提言を踏まえ、卒業後のキャリア形成や実践的な職業教育を意識したカリキュラムや教育方法を編成・実施している。	・カリキュラム検討委員会報告書
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等において第一線で活躍されている方々および本校教職員から構成される教育課程編成委員会を設置して、カリキュラムの作成・見直しを実施している。	・教育課程編成委員会議事録
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1	校外実習(120時間)をカリキュラム化して、実践的な実習授業を実施している。 また、長期休暇中に任意参加のインターンシップを推奨している。	・シラバス ・校外実習関係資料
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1	全授業で全学生を対象に各期ごとに授業評価を実施し、教員にフィードバックするとともに、授業の改善に努めている。	・授業評価結果
・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1	卒業生や関連分野の企業等で活躍されている方々で構成される学校関係者評価委員会を設置して、専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、評価を実施している。評価結果に基づき、職業教育や学校運営についての意見をいただき、改善等を実施している。	・学校関係者評価委員会議事録
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1	学則及び教務規定に、成績評価・単位認定、進級・卒業判定に関する基準を明記している。	・学則・規定集
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1	製菓衛生師試験合格を目標に掲げ、対策講座・模擬試験などにより、指導している。	・シラバス ・対策講座時間割
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1	専修学校設置基準および製菓衛生師養成施設の教員資格を満たす関連分野の実務経験豊富な教員を確保している。	・履歴書、職務経歴書
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1	スキルアッププログラム等において業界を代表する専門家や高い実績のある講師を招聘している。	・スキルアッププログラム冊子 ・講師派遣承諾書
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1	育成計画に基づき、経験年数やスキルにあわせて、外部での研修を受講し、最先端な知識・技能等を修得して、教育指導に還元している。	・予算書 ・研修計画書 ・研修報告書
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1	育成計画に基づき、経験年数やスキルにあわせて、学内での研修を実施したり、外部への派遣研修を実施している。	・予算書 ・研修計画書 ・研修報告書

① 課題

・太秦キャンパスにおける、より実践的なカフェ実践の運営。

② 今後の改善方策

・教育課程編成委員会の意見も踏まえ、3ポリシーの具体的な見直しに着手し、カリキュラムを改善する。

③ 特記事項

・教職員が各種団体のコンクールに積極的に参加し、資質向上につなげている。
・taiwaFD/SDプログラムと称して職種別、職務別となる教職員対象の研修を行い、指導力の向上や資質向上を図っている。
・外部のカフェ分野の技術者、サービスの専門家を招聘して、サービス及び技術を教授できている。
・授業評価結果を即時に公開し、各授業における改善項目を抽出し、次期の授業運営に反映させている。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1					備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	就職部・担任・副担任の三者による就職支援や独自の授業「キャリアプランニング」、ガイダンス等の実施により、就職率100%達成。	・入学案内書 ・ホームページ「就職実績」	
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	資格試験を意識した授業実施や対策講座・模擬試験などにより、資格取得に向けて指導している。2018年度製菓衛生師試験合格率95.7%。	・入学案内書 ・ホームページ「資格取得」	
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	担任・副担任制を採用して、学生個々の出席および学習状況の把握に努め、多欠席者については保護者とも連絡を密に退学率低減に努めている。退学率2.0%。	・年度別退学率データ	
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	事業所訪問の際や同窓生を通じて活躍および評価について把握している。また、事業所アンケートを毎年、卒業生アンケートを3年に1回実施している。	・事業所訪問履歴 ・事業所アンケート結果	
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	卒業生を招いた授業やガイダンスを設け、卒業生の立場から在学中の学習ポイントのアドバイスを行っている。	・予算書 ・ガイダンス報告書	

① 課題

・2018年度製菓衛生師試験で合格率100%を達成することができなかった。

② 今後の改善方策

・製菓衛生師試験対策講座にて、確実に合格できる知識を身につけさせる。

③ 特記事項

特になし

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				備考:取り組みの内容	備考:根拠となる資料の内容
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	就職支援室の設置と専門のキャリアアドバイザーを配置し、担任・副担任との連携による就職支援体制を整備しているとともに、キャリアプランニングの授業も実施している。	・シラバス ・入学案内書 ・ホームページ「就職実績」
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	担任・副担任の他に必要に応じてスクールカウンセラーによる相談体制を整備している。	・学則・規定集
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	独自の特待生・奨学生制度(返済不要)を整備しているとともに、公的な就学支援に関する情報の提供や、日本学生支援機構の事務手続き代行も行っている。	・入学要項 ・サポートブック ・学則・規定集
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	入学時の結核検診や健康チェックシートの記入による学生個々の健康状態を把握し、教職員間で情報共有している。	・結核検診報告書 ・健康チェックシート
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	京都府専修学校各種学校体育大会に参加する、バレー部、卓球部への支援や、食べ歩き研修会の企画・運営などしている。	・京専各体育大会報告書 ・食べ歩き研修会報告書
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	住居の支援体制を整備し、担任・副担任が生活環境に関する相談を受けている。	・サポートブック
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	保護者に対して定期試験結果の通知や就職活動サポート読本の送付するなど情報提供を行うとともに、必要に応じてまめに連携している。また、卒業前にtaiwa スイーツコレクションを開催し、学びの集大成として、保護者を招待した、ショップ・カフェを運営している。	・就職活動サポート読本 ・定期試験結果のお知らせ
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	卒業後の再就職支援などをはじめ、同窓生専用ホームページの運用をしており、毎年同窓会報を作成し発送している。	・ホームページ「OB・OGサイト」 ・中途求人票 ・同窓会報
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	社会人限定奨学金制度(返済不要)を整備しているとともに、専門実践教育訓練給付金認定講座に指定されている。	・専門実践教育訓練給付金指定講座認定書 ・入学要項 ・サポートブック
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	高校と連携し、職業理解を目的とした見学会を実施している。	・高専連携依頼書 ・学校見学会実施要領

① 課題

- ・卒業後年数が経過すると、転居などで住所不明になる卒業生が増加する。
- ・2019年度はtaiwaスイーツコレクションを実施しないため、保護者と接触する機会が減少する。

② 今後の改善方策

- ・転居の際に学校への連絡を要請するとともに、OB・OGサイトでも転居の際の住所変更の連絡依頼を強化する。
- ・成績通知や保護者アンケートの依頼を行う際、教育の取り組みや就職状況を掲載したリーフレットを同封するとともに、ホームページ・SNSの案内をし、閲覧を促す。またカフェ実証の実施日等もお知らせし、来校

③ 特記事項

- ・就職活動に必要な知識・スキル・マナーを学習する授業がカリキュラム化されている。
- ・学園内でのハラスメント委員会を配置し、ハラスメントゼロに取り組んでいる。
- ・学生の就職支援状況を、就職部スタッフ、担任・副担任を中心に、学校全体で情報共有するよう努めている。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	2018年4月に太秦キャンパスへ移転、製菓衛生師養成施設の施設・設備基準に則り、教育効果が高まる施設・設備を整備している。	・製菓衛生師養成施設認可書 ・各種申請・届出の写し
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	校外実習をカリキュラム化して、マナー指導をはじめ、事前指導から実習評価まで教育・指導体制を整備している。また、学生任意参加のインターンシップを長期休暇中に参加できるように設けている。	・校外実習依頼書、承諾書、事前指導資料、評価表 ・学則・規定集
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	防災マニュアルの作成と緊急時の担当者を明文化している。 また、自衛消防団組織を編成するなど、消防計画を作成し、京都市に提出している。 なお、2018年7月5日には、京都市の右京区役所・右京消防署・社会医療法人太秦病院と「防災及び災害時支援に関する協定」締結式を行った。	・校舎管理・防火・防犯要領

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

- ・カリキュラム化されたインターンシップ以外に希望制のインターンシップも行っている。
- ・定期的に設備機器の入れ替えや新規購入を行い、学習効果の高い機器を導入している。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	6月以降にAO入学エントリーを開始し、8月以降に出願受付。その他、一般入試等については、高校既卒生6月以降、その他は10月以降に出願を受け付けている。	・入学要項
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	就職率や資格・検定合格率については、関連部署に確認を取ったうえで入学案内書、ホームページに掲載している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職実績」「資格取得」
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	健全な財務運営や入学者の家計における学費負担などを勘案し、奨学金制度なども含めて、毎年1月に、翌々年度の学納金の額を検討し、決定している。そのことによって学校選択の際には入学希望者があらかじめ学納金を把握できるようにしている。	・入学要項

① 課題

- ・学費支払困難を理由に、入学を断念する受験者がいる。

② 今後の改善方策

- ・学校独自の奨学金制度を設けるとともに、2020年4月実施予定の高等教育段階の教育費負担軽減方策の機関認定に向け申請を行う。

③ 特記事項

- ・入学希望者が学校選択をする際に学納金の額を確実に把握できるよう、早期に学納金を決定している。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	各校ともに入学者を確保できており、予算に基づく適切な収支のバランスが保持できており将来を見据えたキャッシュフローも確保でき、財務基盤の強化が図れている。	・2018年度決算書
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	毎年事業計画に則り収支バランスのとれた予算を策定し、執行に際しても管理徹底を行っている。	・事業計画書
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1	月次決算報告会を実施し、学園監事による執行状況のチェックを毎月実施している。	・月次報告会議事録
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1	データ集(大和学園の財務状況)をホームページにて公開している。	・ホームページ大和学園データ集「大和学園の財務状況」

① 課題

・2018年度以降の18才人口の大幅減少を見据えた健全な財務運営

② 今後の改善方策

・新たな教育分野の開拓や定員の完全充足等収入の安定確保に繋がる中長期財務計画の策定と取り組みを実践する。

③ 特記事項

・特になし

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	法令遵守はもとより、学園内の諸規程を整備し、すべての規程をWeb版コンプライアンスマニュアルに掲載することで周知を図り、適正に運営している。また、学則や教務規定の見直しは毎年行い、法令に従って都度届出などを行っている。	・コンプライアンスマニュアル ・学則
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	個人情報に関する独自の規程を定め、事業が起きた際の対処フローも決めて、徹底を期している。	・情報セキュリティポリシー ・プライバシーポリシー
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1	学生に対し、授業評価、満足度調査を、また卒業生、保護者、事業所にも満足度調査を実施し、アンケートで出てきた改善点を学校運営・授業運営に反映している。 また「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価を実施し、外部委員で編成される学校関係者評価委員会からの意見もいただき、次年度の取り組みに活用している。	・授業評価アンケート報告書 ・満足度調査報告書 ・自己評価表
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価を実施し、本校ホームページで公開している。 また、大和学園データ集にて満足度調査、授業評価の結果について、学校の平均点を公表している。	・自己評価表 ・ホームページ大和学園データ集

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・2013年度より自己評価結果に基づき、学校関係者評価委員会を実施。各分野の企業等から委員を招聘し、そこでいただいた意見を学校運営に活かしている。

自己評価表(京都製菓製パン技術専門学校 カフェスイーツ上級科)

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1				備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	カフェ実践で、地域の方々に施設をご利用いただいている。	・入学案内書
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1	ふれあいスイーツを実施し、高齢者施設、児童館でスイーツの提供を実施している	・ふれあいスイーツ実施報告書
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1	地域の方々を対象に製菓・製パン講習会を積極的に実施している。	・年末特別料理講習会報告書

① 課題

・学校が主催する、学生参加の社会貢献・地域貢献の取り組み機会や参加人数が限られている。

② 今後の改善方策

・より多くの学生に対して社会貢献・地域貢献活動の機会が増えるよう、学外でのボランティア活動も紹介する。

③ 特記事項

・社会貢献・地域貢献に関する詳細はホスピタリティ・レポート(学園概要 & SR報告書)および、学園ホームページで公開。
 ・右京区や山/内浄水場跡地活用事業者と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結し、協定締結イベントに参画した。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1				備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生対象のガイダンスへの参画や日本語学校への訪問などで募集活動を行っている。 また、在学生に対し海外留学制度を設けている。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・訪問計画 ・入学案内書「海外留学・研修プログラム」
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1	留学生の受入れについて、留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生に安心して入学してもらえるよう案内している。 また、留学生の在籍管理について入国管理局から適正校の認定を受けている。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・留学生実態調査回答用紙 ・適正校認定書
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1	正副担任のサポートのみならず、教務部において留学生カウンセラーを設置し、面談を実施している。	・業務分掌
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	必用な際に英文での卒業証明書、成績証明書を発行している。	・卒業証明書(英文) ・成績証明書(英文)

① 課題

・総学生数と比較して、留学生の入学希望者が相対的に少ない。

② 今後の改善方策

・2017年度に全改訂した留学生パンフレットを活用し、Web/SNSの強化など広報活動を展開し、国内外に留学生にとって魅力的な情報を発信する。

③ 特記事項

・京都の大学・短大・専修学校及び関係者で構成されている、留学生スタディ京都ネットワークに参画している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

長期経営目標、中期経営計画の実現をめざし、2018年度の学園運営方針、学校運営方針、そしてカフェスイーツ上級科の3ポリシーに則り、コンプライアンス遵守のもと、学校運営や教育活動に取り組み、目標資格取得、第一希望就職の達成をめざすとともに、「ハビネス・ホスピタリティ・スタンダード」を基に、規範教育も徹底した。

また、コアメニューを中心とした反復練習を重視する実習授業により、積み上げ方式で学習するスタイルが身につく、確実な技術習得に繋がっている。さらに、2年次のカフェ実践においては、繁盛店を切り盛りする力を養い、職業型実学教育が推進できている。

また2018年4月に開設した太秦キャンパスは、最新の施設・設備を有し、より専門に特化した実習およびカフェ実践を展開することで、さらなる職業型実学教育の充実を図っている。今後も卒業生、保護者、事業所アンケートを継続し、ステークホルダーのニーズを把握するとともに、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の提言を受け、時代を先取りした教育カリキュラムを構築し、学校、学科運営を展開する。